

第十回国際生物学賞受賞者

エルンスト・マイア博士

Professor Ernst Mayr

生年月日 1904年7月5日

国 籍 アメリカ合衆国

現 職 ハーバード大学名誉教授

連絡先 Museum of Comparative Zoology,
Harvard University, 26 Oxford
Street, Cambridge, Massachusetts
02138, U.S.A.



略 歴 1925年 グライフスバルト大学卒業
1926年 ベルリン大学より Ph.D. (動物学) を取得
1926～32年 ベルリン大学博物館キュレーター補
1932～44年 アメリカ自然史博物館キュレーター補
1944～53年 アメリカ自然史博物館キュレーター
1953～75年 ハーバード大学比較動物学博物館教授
(1961～70年 同 館長)
1975年～ ハーバード大学名誉教授

栄 誉 歴	1954 年	米国科学アカデミー会員
	1958 年	ロンドン・リンネ協会ウオーレス・ダーウィン賞
	1967 年	米国科学アカデミーエリオット賞
	1970 年	合衆国科学賞
	1977 年	米国鳥類学会クーズ賞
	1978 年	コレージュ・ド・フランス賞
	1983 年	バルザン賞
	1984 年	ロンドン王立協会ダーウィン賞
	1986 年	科学史協会サルトン賞
	1988 年	ロンドン王立協会外国人会員
	1994 年	ロシア科学アカデミー外国人会員

- 代表的著作 Mayr, E. (ed.) (1957). *The Species Problem*. American Association for the Advancement of Science, Publication No. 50. 395 pp.
- Mayr, E. (1963). *Animal Species and Evolution*. Harvard University Press, Cambridge, MA. 797 pp.
- Mayr, E. (1969). *Principles of Systematic Zoology*. McGraw-Hill, New York. 428 pp.
- Mayr, E. (1970). *Populations, Species, and Evolution*. Belknap Press of Harvard University Press, Cambridge, MA. 453 pp.
- Mayr, E. (1976). *Evolution and the Diversity of Life: Selected Essays*. Belknap Press of Harvard University Press, Cambridge, MA. 721 pp.
- Mayr, E. (1982). *The Growth of Biological Thought: Diversity, Evolution and Inheritance*. Harvard University Press, Cambridge, MA. 974 pp.
- Mayr, E. (1988). *Toward a New Philosophy of Biology*. Harvard University Press, Cambridge, MA. 564 pp.
- Mayr, E. and Ashlock, P. (1991). *Principles of Systematic Zoology*. 2nd ed. McGraw-Hill, New York. 475 pp.

研究業績

マイア博士は、20世紀の分類学・進化理論の指導的研究者である。生物分類学において多大の業績を挙げたばかりでなく、その業績を基礎として生物学の他の分野、すなわち生物地理学、進化学、生物哲学、生物学史などの分野を自ら大きく発展させるとともに、それ以後の研究者に対して比肩することのできる者のないほど深甚な影響を与えることによって、生物学全体の進歩に大きく貢献した。その業績は15冊の著書及び650編を超える論文にまとめられている。

マイア博士の研究者としての特徴は、まず、ナチュラリストからはじまり、90歳をこえた現在でも観察し、思考するナチュラリストであり続けていることである。鳥類学者としての博士は、少年時代すでに優れた野鳥の観察者であり、スズメ目アトリ科のセイオウチョウなどの研究を契機として、グライフスバルト大学での医学の道を断念し、ベルリン大学の自然史博物館で本格的に鳥類の分類学的研究に取り組むことから始まっている。次いでアメリカ自然史博物館及び最終的にはハーバード大学の比較動物学博物館館長として、博士の研究は常に博物館での研究活動に基づいている。

博士の初期の研究は、1920年代後半から1930年にかけて3回にわたって実施したニューギニア及びソロモン諸島の学術調査、及びアメリカ自然史博物館での20年にわたるニューギニア及びソロモン諸島の鳥類コレクションなどの膨大な標本の観察に基づく鳥類の分類の改訂・整理であった。博士は、タカ目タカ科のソロモンウミウシ、ハト目ハト科のサンタクルーズバト、スズメ目ヒタキ科のサンクリストバルムシクイなど26の新種を記載したが、これは現存の鳥類学者の中で最も多いものである。

また、鳥類のさまざまな科や属についての研究論文もきわめて多く、特に系統分類の分析形質として、形態のみならず巣作りの習性や交尾行動などの行動学的特徴を初めて採用している。1953年に比較動物学博物館に着任すると直ちに *Peters' Check-list of Birds of the World* の完成の指揮をとり、全15巻の後半8巻と第1巻の改訂版を出版したが、本書は将来長く鳥類の分類の基準となるも

のである。

マイア博士は、南太平洋の鳥類の研究成果に基づいて、従来の区系地理学的研究法から、動物相の分析に基づく生命誌的ダイナミックな研究法に改めることを提唱し、1940年の初めに生物地理学に動物相の研究を取り入れた「島の生物地理学」の基礎的コンセプトを発表した。

系統分類学及び進化論の分野におけるマイア博士の研究業績は、まず、1942年の *Systematics and the Origin of Species* に明らかにされている。この書は新しい系統分類学と進化理論の総合化の礎石である。博士は進化理論における系統分類学の成果の重要性を示し、生物学の諸分野における系統分類学の正しい地位の回復を意図した。博士は、種レベルの系統分類の理論を発展させ、「生物学的種概念」を導入し、種の起源について「異所的種分化理論」を発展させた。博士は、この書を基にして教科書を著した。いくつかの改訂版のうち、*Principles of Systematic Zoology* (1969) は中でも完成度が高く、広い基盤をもったものである。1963年に出版された *Animal Species and Evolution* はより純粋に進化理論を取り扱っている。

マイア博士は進化理論の総合化をドブジャンスキー博士やシンプソン博士らとともに主唱した。系統分類や進化に対するこの総合的なアプローチは1940年代の生物学者に大きな影響を与え、今世紀中葉以降の比較生物学のあらゆる分野で基本的となった研究法である。

マイア博士は、常に自らの研究の理論的、哲学的意味を追求した。*Evolution and the Diversity of Life : Selected Essays* (1976) と *Toward a New Philosophy of Biology* (1988) はこの範疇に属する。

マイア博士は、生物学の歴史的発展に興味を持ち、*The Growth of Biological Thought : Diversity, Evolution and Inheritance* (1982) など、この方面でも多数の著作がある。